

あだたら

第429号
発行所
郡山市喜久田町
あだたら山の会

七月二十一日(日)〜二十三日(火)

七月山行・

日本三霊山、加賀の白山

報告・□□□□・□□□□・□□□□・□□□□



22日、夕方、白山室堂、後ろは奥宮祈禱殿、御前峰

◆□□□□(二十一日)
昨年の忘年会で、Kさんの「白山に行きたい」の一言、いや連呼がきっかけとなり、昨年の立山に続いて、今年も白山に行くことになりました。昨年同様参加者が多ければ、バスによる移動も計画されましたが、最終的には参加者が九名となり、レンタカーで移動することになりました。一日目(七月二十一日)朝六時に霞ヶ城公園駐車場に集合し、参加者全員で記念撮影後、六時十五分、金

●編集部連絡先
二本松市郭内一五一五
0243(22)4245
FAX可・渡辺 正

沢に向けて出発。磐梯S A(常磐道)八時五十七分着、休憩。その後、栄S A(北陸道)八時五十八分着、休憩。さらに有磯海S A、十時五十七分着、休憩。金沢森本IC、十二時九分通過し、加賀料理の秋月に十二時二十五分到着。

加賀料理の味の粋を心行くまで味わう。食事後、Mさんの「花鏡庵のケーキが食べたい」との一言で、近江市場散策組と別腹スイーツ組に分かれる。スイーツは嫌いではないので、スイーツ組に付いて行く。それぞれ好みのケーキを注文し店内の雰囲気を楽しみながら、口溶けが良く後に残らない美味しいケーキをいただきました。

集合時間に全員戻って移動開始。車中から金沢駅の荘厳な印象の鼓門を見学し、白山比咩神社へ向かう。白山比咩神社は霊峰白山を御神体とする全国白山神社の総本宮です。明日の安全登山を祈願し、御朱印もいただきました。白山比咩神社を十六時に出発し、今日の宿「はくれい荘」に十六時五十六分到着。明日の登山に備えてそれぞれ荷物を部屋に搬入し、まずは温泉で一汗流した後、全員そろ



21日、午前6時15分、霞ヶ城公園出発

っての夕食。その後、二部屋に分かれ懇談、プチ宴会。二人のKさん大いに盛り上がる。明日の荷物(紙パックの中身)を減らすためだそうです。だいたい出来上がったところで就寝。夜中に新たな伝説が...



白山比咩神社



21日、秋月の昼食



21日、はくれい荘夕食



21日、はくれい荘

登拝
霊峰白山
令和六年七月廿日
奥宮お札



22日、午前8時、別当出合い登山口

◆□□□□、(二日目)
 登山の準備をして、「はくれない荘」を七時に出発。一ノ瀬ビジターセンターに七時二十分に到着。七時四十分発のシャトルバスに乗り込む。別当出合登山センターに七時五十二分到着。別当出合登山口で元気な様子撮影し登山開始八時五分、登山口の鳥居をくぐる。とすぐに長い吊り橋、少し揺らしながら渡って行く。登山道は砂防新道で、石が引き詰められていて整備されているが、濡れると滑りやすく足の負担が大きくなりそう。約十分歩くと一方通行の分岐に着く、そこを指示通り右側に進んで行く。右側奥に不動滝を眺めながら進んで行く中飯場に八時四十九分に着く。約十分間休憩し、甚之助避難

小屋を目指して行った。約二十五分休憩した後、黒ボコ岩目指して出発。十一時三十六分に南電道の分岐に着く。砂防新道の表示がある道標を室堂に向かって進んで行く。ここで標高二千mを超えてきた。この先厳しそう。すぐに落石注意の表示が出てくる。左に切れ落ちた斜面を見ながら登って行くと、もう少しで黒ボコ岩という所まで。黒ボコ岩にたどり着く、残念なことに延命水はポッタ、ポッタと滴る程度で、これでは飲めない。すぐに黒ボコ岩に到着。十二時三十一分。お昼を過ぎていたがここまでくればもう少しなので、室堂で昼食をとることにしたが、すでに三つあるおにぎりの一個は腹の中のもの。少し休んだ後、出発。十二時五十四

分に五葉坂に着く。明日下るエコーラインの分岐です。室堂まで四百mもう少し。室堂平手前まで来て後ろ振り返ると、今来た登山道と明日帰るエコーラインが遙かに見える。十三時十六分、白山室堂到着。ビジターセンター手前の椅子に座って残っているおにぎりを食べる。少し落ち着いてから神社でお参りし、御朱印をいただく人、記念のバッジを買う人。室堂まで来られてよかった。ビジターセンターに戻ってザックを置いて山頂へ。室堂を十四時十四分に出て、御前峰(白山、最高峰二、七〇二m)等三角点と白山比咩神社(宮がある)に十四時五十九分到着。残念なことにガスがかかっていて見通しが効かない。山頂で記念撮影後、下山することにした。なんと下山途中で、ややゆっくりにチームにいた会長が登ってくる。これから御前峰、大汝峰、お池巡りをしてくると言う。さすがと言うしかない。お気をつけてと言葉をかけて我々は下山する。室堂ビジターセンターに戻って周囲を散策すると、ちょうど黒ボコ岩が一面に咲いていて、疲れを忘れさせてくれた。ビジターセンターに戻って今日の宿泊先を確認する。ビジターセンターの周りに何棟かの宿泊棟があり、くろゆり荘の五号室に泊まることになっ



白山奥宮

た。部屋は一人のスペースが畳一畳分、二人で一部屋の仕切られた二段部屋となっている。敷くマットと毛布は用意してあるが、風呂はない。ザックは自分のスペースで保管するしかないが、とにかく狭い。会長の部屋は宿泊者一人だったのでも、スペースにザックを置いてもらう。汗や霧で濡れた服を乾燥室で乾かす。明日湯いた服が着られる。一段落してからビジターセンターで夕食。売店で白山頂上登拝と書かれてある生ビールを買って食堂でお疲れ様。飲み終わった後のコップは良いお土産になりそう。夕食後、ようやく晴れてきた景色を見に行く。ビジターセンター前の広場から夕焼けを眺め、明日のご来光を楽しみに部屋に戻って、うとうとと眠りにつく。天気が良ければ、早朝に神社から大鼓がなり、自然観察会が行われる予定だ。



22日、白山、夕日

◆□□□□
 『花畑の白山』
 日本三霊山の一つ白山に登ってきました。富士山、立山、白山は古くから信仰を集めてきた山々です。私は富士山、立山を登ったので、白山に登ったら三霊山を達成できる！と思い参加しました。前日の七月二十一日には白山神社総本宮の白山比咩神社に行き、全員で安全登山を祈願しました。

七月二十二日、市ノ瀬ビジターセンターからバスに乗り、白山入口別当出合へ。白山登拝入口には鳥居があり、くぐると気が引き締まりました。いよいよ白山だ！と気合を入れて歩き始めた。なんと目の前には、私の大の苦手な吊り橋が！しかも長い？これがあの世とこの世の分かれ目なのか？とそぞろ歩きでうと思ったら、まさかのポタポタ。とりあえずなめたので、一ヶ月くらいは延命水が足りなそう。室堂の最後の



御前峰

上り坂五葉坂では、もうひと踏ん張り石段を一步一歩上がり頑張りました。室堂付近はガスガスでしたが、白山神社奥宮へお参り、御朱印をいただき、みんなご満悦です。室堂平では自然観察路が設けられていて、一面お花畑でクロユリがたくさん咲いており、初めて見たのでキヤキヤ大興奮です。白山室堂からみた夕日はとっても素晴らしい夕日でした。

七月二十三日はエコーラインを通り下山。エコーラインにはチングルマのお花畑、ニッコウキスゲで溢れた斜面、クロユリ(もう珍しくなくなりました)も咲いていてお花の写真を撮りながら歩いてきました。白山の名を冠した高山植物に出会えて、とても楽しい山行でした。帰りは温泉で汗を流し、金沢棒茶のソフトクリームを食べて、白山登拝の締めとしました。

八月十八日(日) 県岳連・一切経山清掃登山

報告・□□□□□□□□



8時19分、当会4名になった

と、□□さんに説明、口に入れたようだ。「ほんとだ」が返ってきた。まだ小さいが「クロマメノキ」も見つかる。「ブルーベリー」だ。味は良い。「ガンコウラシ」の黒い実は口に入れ潰して、ジュースが美味しい。残った皮と種は教えてくれた先輩は吐き出していたが、私は食べたい。「アカモノ」の実はまだ小さく、食べても味気ないだけだった。急な登りになって、□□さんは長方形の「日傘」を開いてさし始めた、車のフロントガラス用だという。風が通って、とても涼しいという。他の登山者の評判も良い。九時十五分、酸ヶ平避難小屋、小休止。更に登って山頂十時十三分。

◆□□□□ 本来は十一日の山の日だったが、天候悪化の由で、十八日に延期。参加者はリーダー□□□□さん、□□□□さん、□□□□の三名。道の駅土湯七時集合。打合せの通り、女性ドライバーの□□さんの車に乗せて貰う。八時免平駐車場、六割がたは埋まっていたが駐められた。駐車場で、リンドウ見付けた、アキノキリンソウと一緒だ。バラバラにスタート、スカイラインを五百メートル程で道の反対側に浄土平入口が現れる。やがて浄土平駐車場からの工字路。そこに□□□□さんが居た、八時十九分、あだたら山の会は四名となった。一緒に「酸ヶ平」を目指す。「シラタマノキ」の白い実が出てきた。「サロメチール」の匂いがする、

覚えて居たので、そこ見ると、原っぱの中にこんもりした五葉松の「固まり」が見えた。□□さんもカメラ向け撮影していた。一切経山頂で昼食、十一時、空気大感謝塔前で、記念撮影。食事済ませて下がるうとしたら、又その話持ち上がった。遅れて来た今回の参加者達からだ。あるのは知っているが場所が判らないという、見える場所まで、ちよっと戻って、「あれだ」と説明。判ったろうか。十一時十五分、大きな荷物背負った女性が上ってきた。荷物には小さな旗があり、「おかし販売中」と書かれていた。背面に廻ると、大きな扉があり、御菓子のパッケージが並べてある。御菓子屋さんだ。女性の登山者達、扉開けて買った。私も買ってしまった。帰宅してネットで見てみたら「お菓子売りのてくてく」、「北海道の山で登山をしながらお菓子を担いで〜」、「全国展開中です」となっていた。

酸ヶ平に到着したが、姥ヶ原を廻る事にした。十二時二分、途中の木道の休み場で写真撮っている人達がいる。近くに寄って見たら、開花した「リンドウ」だ。開花は珍しい、早速撮影。今年の気候のせいかも知れない。鎌沼の脇で、□□さんの靴、底が剥がれた。私は「針

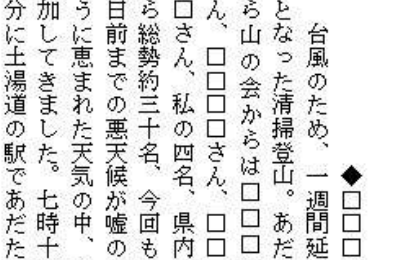


□□さんの傘



シラタマノキ

金」と「ガムテープ」は常時持参だ。そして針金で結ぼうとしていたら□□さんが、「俺にやらせる」と手を出してきたので、お願いした。鎌沼からは姥ヶ原、お地藏さんに行くからと□□さんは道を選ぶ。十二時三十八分、お久しぶりだ。「姥神様」だ、脇には「お地藏さん」もいる、最初に来たときは「姥神様」だけだった。お賽銭が一杯上がった。十三時三十五分、酸ヶ平分岐通過、十三時五十六分、免平駐車場に戻った。既に駐車場はガラガラだった。十四時三十八分、道の駅つちゆ、無事解散となった。□□さんへの車代、「靴直して貰ったから」と言う事で、帳消しにして貰った。



開花したリンドウ



日暮しの松、一切経山頂から



空気大感謝塔

◆□□□□ 台風のため、一週間延期となった清掃登山。あだたら山の会からは□□□□さん、□□□□さん、□□□□さん、私の四名、県内から総勢約三十名、今回も二日前までの悪天候が嘘のように恵まれた天気の中、参加してきました。七時十五分に土湯道の駅であだたら山の会集合、八時に免平で全員が集合。この、年一回の山岳連の清掃登山は、山の日が制定された二〇一八年からの行事だそうで、見るからに錚々たる面々の集まり。コールマンのカップ、アミノ酸飲料の元をいただいて、体調に気をつけて行ってこいと言うことですね！八時三十分には気合い入りの出発。午前中は日差しが程よく、涼しい風を感じながら、登りました。□□さんの長方形のフロントガラス用の傘、なかなかの優れもので、時々影に入らせていただきました。日陰のおかげで、涼しく快適でした。頂上では、麗女の瞳を見ようと、登山者がかかり多く、賑やかでした。私たちが、少し早めのお昼を頂きましたが、山で食べるご飯は、いつもとっても美味しいですね。□□さんがラーメン作ってる姿、手際が良くてびっくりしました。清掃登山の成果は、道中はあまり気にならなかったけど、頂上付近ではピニールゴミ、携帯ケース、ガラスの破片、濡れているキヤップ(帽子)を見つけた。下山途中、鎌沼にも連れて行っていただきましたが、なんとハブニングが！なんだか分厚い物を踏んだあと、足元を見たら、右靴底の前半分が剥がれて、自分で踏んでました。□□さんのリュックから針



拾ったゴミ、大きいのは帽子



記念品

金とガムテープが出て来て、□□さんと二人で見事な応急処置、□□さんが傘で日陰を作ってくれて、まるで避暑地のお嬢様。復活した靴で、普通に歩いて下山できました。免平駐車場に着いたのが十三時五十分ころ、それから土湯道の駅で解散。解散の後、一人で道の駅で山ぶどうソフトを食べて帰りました。この山ぶどうソフトはシャワーソフトなので、暑い日はお勧めです。皆様のお陰で、楽しい山行、無事に帰って来ることができました。ありがとうございました。次のお山行では、新しい靴での参加となることでしょうか。乞うご期待。

七月十三日(土) 個人山行・花の月山

報告・□□□□



朝五時□□さんと出発、一般道を滝沢駐車場へ。九時頃着く、駐車場は約三百台くらい入るそうだが満車。奥の空スペースも少ない(駐車場協力金千円)。駐車場を確保し、車の中で軽食、九時四十五分入山届けを出し、リフトに乗る(往復千五百円)。リフトの下はニッコウキスゲ見頃である、風も無く、晴れて居る。登山に最高である。十時出発、今回は最短コースで山頂を目指す事である。今迄何回も来て居るが、春の花を見るだけで、山頂へ行っただのは、十年くらい前かな、登山道木道脇にワタスゲ・



ホラガイで終わり、僅か五く六分位だったか。私達も一緒に手を合わせお祈りをする。岩場を慎重に下り、リフト乗り場へ。スキー学校の人達と一緒に、学校の後にリフトに乗り、リフト最終時間がスピーカーから流れるのと同じにリフトを降りる。四時滝沢駐車場を出る。途中柳川温泉で風呂入り、二本松九時帰宅する。今回の山行でもう皆さんなど登山する事は、皆さんに迷惑を掛ける事にはならない内を考えるべきではないかと思った。

七月二十八日(日) 個人山行・磐梯山

報告・□□□□



磐梯山、弘法清水にて

朝六時家を出る天気は良くない。七時八方台駐車場へ。混むのではないかと思いい早く出たが、車は疎ら、私の後に来た車のカップルも車から出たが又車に入る。二く三人が入山して行く。私も入山。途中雨になつたら下山しようと思つた。中の湯八時五分休憩、視界は二く三十分位。裏磐梯の合流点からの登りはきつい。休み休みの登りである。登り切り少し下りになる頃になつたら早い登山

者が下山して来る。山頂は〇く五分位の視界であるとの事。今日は会の登山学校、どこかで逢えるかと会長へ電話すると今日は中止したとの事。霧と言うより雲の中、雨でないので弘法清水まで行く事にし頑張る。弘法清水十時、ガスで標識も近くに行かないと字が判らない。弘法清水小屋で休ませせて貰い、即席ラーメンを食し、十時半下山する、十二時十五分八方台駐車場へ。久しぶりのガスの中の

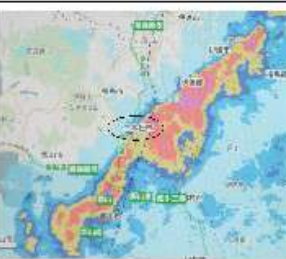
山行、ザックカバーだけの山行だった。帰り、猪苗代スキー場に廻り登山リフトが運行しているとの事で何処から出ているのか見に行くと、リフトは二本乗り継ぎ、スキー場の頭まで行く様だ。リフト代は一本往復、千六百円、全部使うと(二本)、三千二百円掛かるみたい。

八月二十一日福島民報「みんなの広場」□□□□さん投稿「健康管理に注意して生活を」。

九月の会報も五頁になった。皆さんからの報告、沢山来るのが編集部としては嬉しい。今回は「白山」が主だったが、是非、個人山行の報告を下さい。山歩いでいて、面白い事、珍しい事見付けて、皆さんに知らせたい事が一杯あると思います。会員の皆さんに知らせましよう。

大きく太平洋に離れたが、県内には大きな影響があった。二本松では午前二時当たりから、雨が烈しくなってきた。雨音が目醒めた。福島県内に「線状降水帯」できたかも。二本松市の一時間降水量は五十二ミリで八月の観測史上最大を更新した。全国ニュースだ。午前二時時五十分、防災ラジオ赤く光った、大雨警報発令。三時十六分強風警報発令。しかし三時五十分には静かになった。三時五十分五分起床。

▼反省、九月四日の遭難救助訓練、皆に付いて行けなかった。屏風岩での休憩時、同行していた救急隊員に「下山しますか？」と聞かれてしまった。顔色相当悪かったらしい。下山して自分の車に乗って、ミラーに映った顔見たら真っ白で、びっくりした。去年の秋の入院の方、体変わってしまったらしい(□)。



線状降水帯?、3時33分